

第5回

議会報告会 報告書

京田辺市議会

第5回京田辺市議会「議会報告会」報告

主催 議会運営委員会

日時 令和2年2月8日（土）午後2時～午後4時

場所 京田辺市立三山木福祉会館 2階大会議室他

【次第】

1. 開会（司会進行） …河本隆志議会運営委員長

2. 開会あいさつ …松村博司議長

3. 審議結果報告
 - （1）平成30年度決算特別委員会審議内容などの報告
…青木綱次郎決算特別委員長（10分）

 - （2）第4次総合計画特別委員会の報告
…橋本善之第4次総合計画特別委員長（10分）

- 《 休憩 》（5分）

4. 市政全般に関する質疑応答及び意見交換（40分）

《 休憩 》（10分）

5. 補足説明（3分）

6. 閉会あいさつ …河田美穂副議長

【開会等】

◎京田辺市議会は、令和2年2月8日（土）午後2時より、京田辺市立三山木福祉会館 2階大会議室他において、第5回京田辺市議会「議会報告会」を開催した。

令和元年12月定例会で議決した平成30年度決算と京田辺市第4次総合計

画について、各特別委員会の委員長の報告に続き、市政全般に関する質疑及び意見交換を行った。議会報告会には18人の市民のみなさんにご参加いただき、議員18人が出席した。

司会は河本隆志議会運営委員長がつとめ、最初に松村博司市議会議長が開会あいさつを行った。

次に、平成30年度決算特別委員会で審議された主な内容、審議日程、各部局別審査、会派別総括審査を青木綱次郎委員長が約10分間で報告した。報告の概要は別紙資料の通りである。

次に、京田辺市第4次総合計画の概要と総合計画における市議会の役割、付託された9月定例会から継続審査として行った第4次総合計画特別委員会での審議経過、質疑内容を橋本善之委員長が約10分間で報告した。報告の概要は別紙資料の通りである。

約5分間の休憩の後、参加者の方に2つのグループに分かれてもらい、議員も2グループに分かれ、審議結果報告や市政全般に関する質疑及び意見交換を分散会形式で行った。

参加者からの質疑及び意見は以下の通りである。

【グループA】

- * まちづくりの第4次総合計画の京田辺市としてのビジョンやプランは示されているのか。
- * 松井ヶ丘地域は最近、1区画を分割して販売する例が増加している。以前、分割の販売に対する許可を出さないよう求めて市に相談したが、市からは住民側で地区計画をするように言われた。市がビジョンを検討している間に分割がどんどん進んでしまう。
- * 家を売ってくれという訪問、緑の減少、新幹線による地下水の変化の心配、枚方市と京田辺市のごみ処理のためのごみ焼却施設を京田辺市に建設することは不満に思う。
- * 台風の時、高齢で自動車もない1人住まいの状況では、どうやって避難所まで移動すればいいのかわからない。具体的方法を考えてほしい。

- * 総合計画にあるまちづくりの基本方針の中に「活力にみちた便利で快適なまち」とあるが、ぜひバス交通を向上させてほしい。「高齢者が乗りやすいバス交通」を盛り込んで欲しい。
- * 上下水道の管を埋設し直す工事が行われているので舗装がデコボコになっている。舗装をやり直してほしい。
- * 北部住民センターの図書館があることは子育てしていて良いと思う。何冊でも借りられて期限も延長できる。図書館のネット活用も充実していて良い。
- * 松井ヶ丘3丁目は移動図書館が来ない。
- * 水道料金値上げをしないで欲しい。また、以前に粗大ごみ回収が有料化されたが、ごみが減っているのであれば元の無料化に戻してほしい。
- * リサイクルプラザのエコパークの取り組みは素晴らしい。インスタグラムで紹介される点も良い点である。
- * インターネット環境の5G化を京田辺市でも実現してほしい。

上記の質疑等に対しては、青木綱次郎決算特別委員長、上田毅文教福祉常任委員会副委員長、及び対応する各委員が回答などを行った。

【グループB】

- ・冒頭にまず、第4次総合計画についての追加説明を実施。
- * 人口8万人を目指すとされているが、税収の面でみてももっと人口増加を考えてもいいのではないか。
- * 決算特別委員会の議事録が出てからこの報告会を行ってほしい。その方が議論や経緯が分かりやすい。
- * 議会報告会の開催周知が遅い。HP等もっと活用してほしい。
- * 「新田辺」周辺をまちの中心とするなら、もっとしっかりと進めてほしい。

- * 新田辺駅東側についての再整備はもっと議会としても議論してほしい。
- * 三山木にももっと大きな商店がほしい。
- * 全体説明の内容が分かりにくかった。もう少し簡素にまとめてほしい。

上記の質疑等に対しては、橋本善之第4次総合計画特別委員長、河本隆志議会運営委員長、及び対応する各委員長が回答などを行った。

その後、約10分間の休憩をとり、参加者の方から全体を通しての質疑を聞いたところ1名から発言があった。

発言：京田辺市は良い文化と自然に恵まれている、今後もそれを守ってほしい。

次に、松村博司議長が枚方市と京田辺市の広域ごみ処理施設に関する補足説明を約3分間行った。

最後に、河田美穂副議長が閉会あいさつを行った。

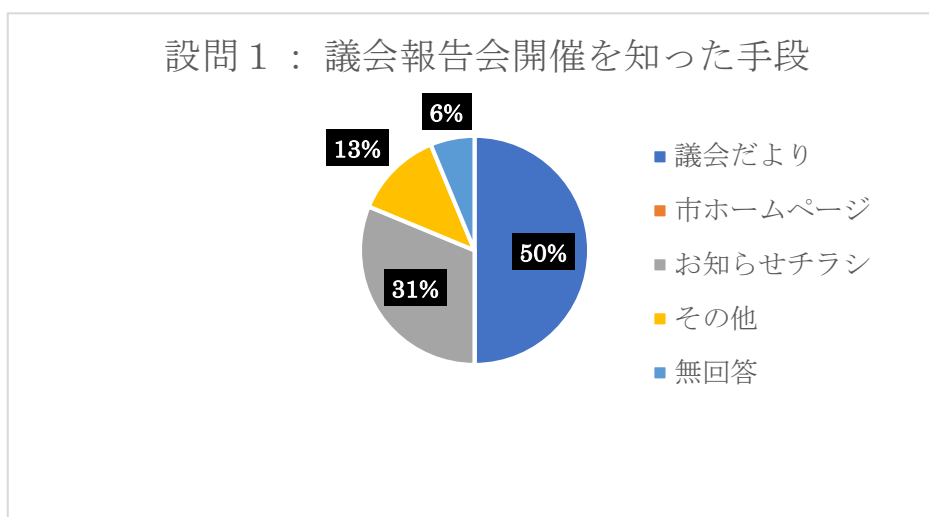
【アンケート結果】

◎参加者にアンケート用紙を配布した結果、16通の協力があった。
アンケート結果と内容については以下の通りである。

※（ ）内は前回、（ ）は前々回の数値

▼設問1：議会報告会開催を知った手段

| | | | |
|----------|-----|-------|---------|
| 議会だより： | 50% | (68%) | ((15%)) |
| 市ホームページ： | 0% | (9%) | ((5%)) |
| お知らせチラシ： | 31% | (14%) | ((39%)) |
| その他： | 13% | (9%) | ((41%)) |
| 無回答： | 6% | (0%) | ((0%)) |

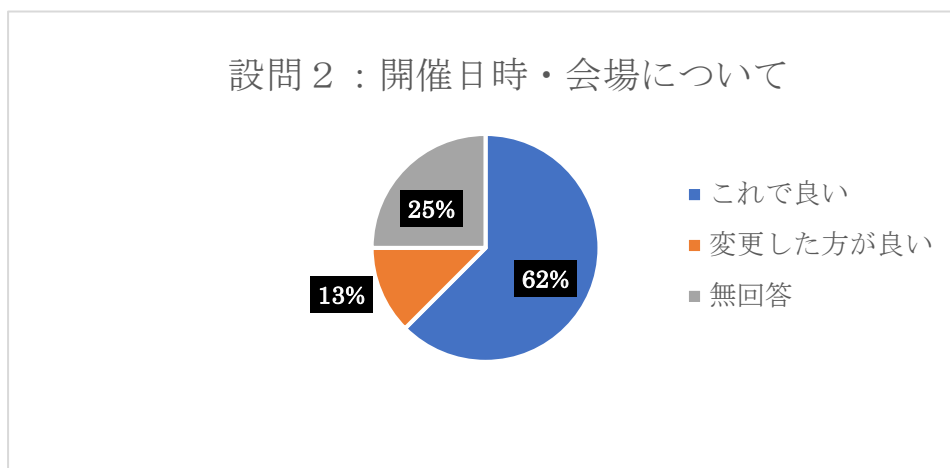


▼設問 2 : 開催日時・会場について

これで良い : 62% (73%) ((83%))

変更した方が良い : 13% (14%) ((10%))

無回答 : 25% (13%) ((7%))



▼設問 3 : 参加しての感想

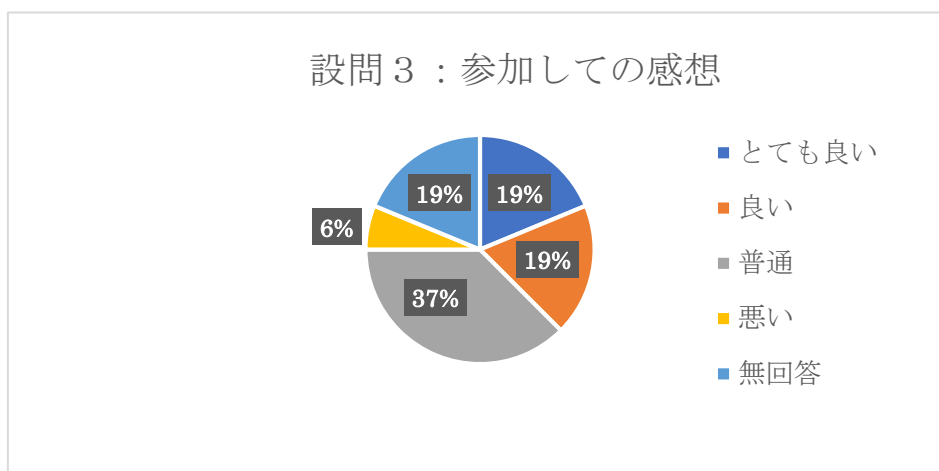
とても良い : 19% (9%) ((12%))

良い : 19% (55%) ((56%))

普通 : 37% (18%) ((22%))

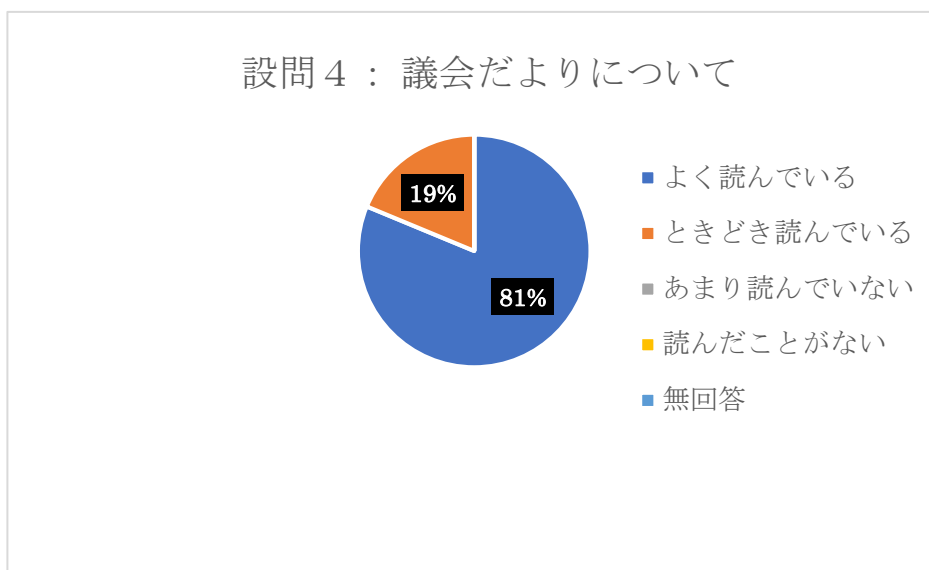
悪い : 6% (9%) ((3%))

無回答 : 19% (9%) ((7%))



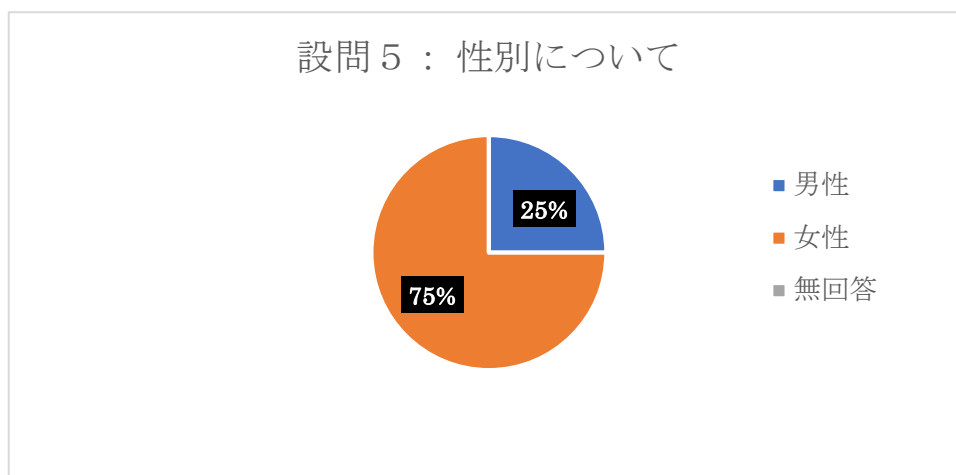
▼設問4：議会だよりについて（前回までは、この質問は無し）

よく読んでいる： 81%
ときどき読んでいる： 19%
あまり読んでいない： 0%
読んだことがない： 0%
無回答： 0%



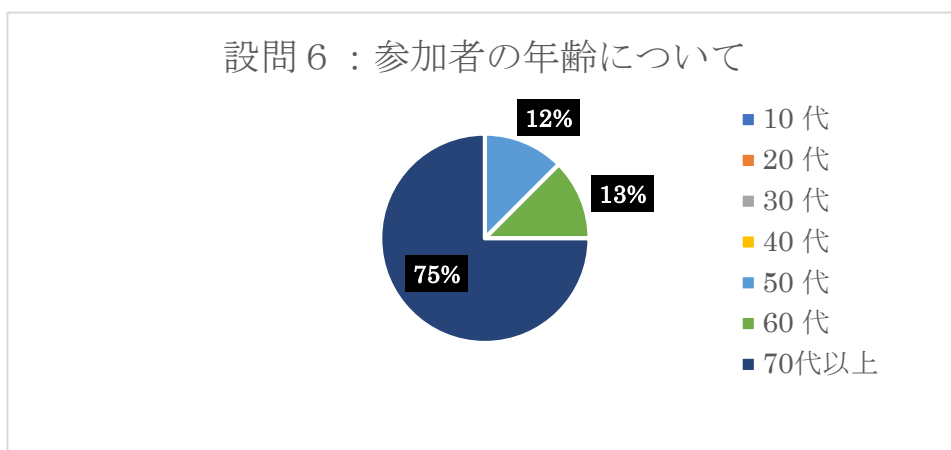
▼設問5：性別について

男性： 25% (82%) ((66%))
女性： 75% (18%) ((32%))
無回答： 0% (0%) ((2%))



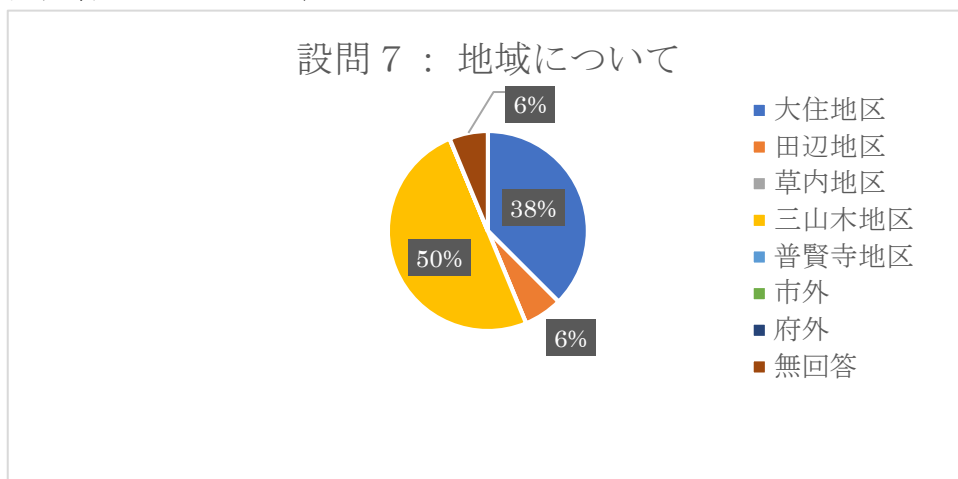
▼設問 6 : 参加者の年齢について

| | | | |
|---------|-----|-------|---------|
| 10代 : | 0% | (0%) | ((0%)) |
| 20代 : | 0% | (4%) | ((2%)) |
| 30代 : | 0% | (0%) | ((2%)) |
| 40代 : | 0% | (0%) | ((10%)) |
| 50代 : | 12% | (14%) | ((5%)) |
| 60代 : | 13% | (23%) | ((32%)) |
| 70代以上 : | 75% | (59%) | ((49%)) |



▼設問 7 : 地域について (前回までは、この質問は無し)

| | |
|---------|-----|
| 大住地区 : | 38% |
| 田辺地区 : | 6% |
| 草内地区 : | 0% |
| 三山木地区 : | 50% |
| 普賢寺地区 : | 0% |
| 市外 : | 0% |
| 府外 : | 0% |
| 無回答 : | 6% |



【まとめ】

今回、三山木地域では初めての開催であった。

アンケートの回答は、約9割の参加者の方から寄せられた。その内訳は、女性が75%で、年齢は70代以上が75%、50代が12%、60代は13%で40歳代以下は参加されなかった。若い世代の参加が無く、男性が少ない。

議会報告会に参加しての感想については、「とても良い」が19%で増加したが「良い」は減少、「普通」が37%で増加しており、前回と比較して参加者個々による評価が分かれた。

参加者の感想では、「ワークショップ方式を評価すると共に粘り強く続けてほしい」や「意見交換の時間をもっと取ってほしい」など、今回実施したようなワークショップ方式の希望と受け取れる意見があった。

不満の意見としては「報告内容の数字やダイジェストが不足している」との記入があった。

自由記述欄では「常任委員会と特別委員会のビデオ収録・公開と、それらの議事録検索実施の要望」「高齢者の交通手段確保の要望」「まちづくりプランや5Gのネット環境を早く前進させてほしい」などの意見が寄せられた。また、エコパークや図書館の取り組みを評価する意見も提出されており、市民の皆様の生の声を聴くことができた。

【総括】

昨年開催した報告会と同様に土曜日の午後の開催としたが、参加者数は18名と昨年と比べて減少した。アンケートの開催日時・会場の設問では、前回・今回とも「これで良い」が6割前後であったものの、開催を知ったのが遅かった等の周知の面での課題はあるように思う。また、お子さん連れの参加を想定し、保育の受入れもできるようにしたが、時間的な余裕のないなかで十分な周知ができなかったこともあり利用者はいなかった。一方、今回は議会報告会初となる南部地域での開催となったこともあり、三山木地域の地元の方の参加が50%となったことは良かったと考える。

今回の議会報告会は、報告内容を「平成30年度決算」「第4次総合計画」に絞り、それぞれ10分程度全体に説明した。市政全般に関する質疑及び意見交換についてはAグループ、Bグループと2つに分けて行った。少数に分けて意見交換を行ったことで、より具体的は議論をすることができた。今後このような形で実施していくのかも含めて、引き続き研究を重ね、改善していく。

また、参加者が高齢の方が多くなったが、今後幅広い年齢層に参加していただけるように、議会報告会の運営面も検討する必要がある。

今回の議会報告会、その他頂いたご意見、また先進地の視察等を踏まえて今後の議会運営委員会の中で調査・研究を行っていく。

2019年 決算特別委員会 審議内容などの報告

▼決算議案について 19年9月議会 閉会本会議にて上程

議案第51号「平成30年度 京田辺市 公共下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分及び決算認定について」

議案第52号「平成30年度 京田辺市 農業集落排水事業会計 未処分利益剰余金の処分及び決算認定について」

認定第1号「平成30年度 京田辺市 一般会計 歳入歳出 決算認定について」

認定第2号「平成30年度 京田辺市 松井財産区 特別会計 歳入歳出 決算認定について」

認定第3号「平成30年度 京田辺市 国民健康保険 特別会計 歳入歳出 決算認定について」

認定第4号「平成30年度 京田辺市 休日応急診療所 特別会計 歳入歳出 決算認定について」

認定第5号「平成30年度 京田辺市 介護保険 特別会計 歳入歳出 決算認定について」

認定第6号「平成30年度 京田辺市 後期高齢者医療 特別会計 歳入歳出 決算認定について」

認定第7号「平成30年度 京田辺市 水道事業会計 決算認定について」

▼決算特別委員会の設置 19年9月議会 閉会本会議にて設置 閉会中に審査

・会派比例配分で、7人の委員からなる決算特別委員会を設置

自民一新会（7人）：久保典彦議員、田原延行議員、橋本善之議員

NEXT京田辺（3人）：河本隆志議員

日本共産党京田辺市議会議員団（3人）：青木綱次郎議員 公明党（2人）：河田美穂議員

京都南風の会・日本維新の会クラブ（2人）：秋月健輔議員

委員長 青木綱次郎 副委員長 久保典彦

▼決算特別委員会 審査内容

・10月3日 現地調査（18年度実施の主な事業の現地視察など）

視察先：高飛川口線道路改良工事（山本区）。幼稚園保育室空調設備設置（草内幼稚園）。

道路改良工事東興戸線（東区）。災害対応特殊消防ポンプ自動車（消防本署）。

田辺中学校体育館防災機能強化等工事。水辺の散策路整備事業（大住中学校西側）。

松井ヶ丘保育園第2園舎。幼保連携型認定こども園こもれび。（同志社山手地域）

・10月15日 部局別審査（企画政策部、総務部、市民部、消防本部、安心まちづくり室 他）

○人件費が増加した要因について

○北陸新幹線南進計画の本市における位置づけとPR活動補助金の内容について

○南田辺西地区整備のゾーニング変更に係る検討内容について

○市のSNSの運用基準について

○企業誘致等の歳入増加への取り組みによる財政への影響について

○国民健康保険特別会計における保険料激変緩和措置の検証について

- 全国大学まちづくり政策フォーラムの市政への反映について
- 法人市民税増額の要因について
- 地域防災計画改定委託料の翌年度繰越理由について
- 災害対応特殊消防ポンプ車を購入した経緯について

・10月16日 部局別審査（健康福祉部、教育部・教育委員会）

- 病児保育、病後児保育の利用状況と体制について
- 子育て世代に対する経済的支援の必要性の認識について
- 緊急医療情報キット配布事業と熱中症対策啓発事業の事業内容について
- 老人福祉センターにおける利用者数の差の要因とバス代補助の評価について
- 生活保護費の支出額減少の要因について
- 三山木小学校増築事業費における工事費、用地買収費等の内容について
- 普賢寺小学校における小規模特認校制度の現状について
- 幼稚園に設置した空調機について
- 通学安全整理員、学校安全ボランティア等を含む通学路における児童の安全に対する考え方
- 大住小学校の学校図書館の図書データベース化の成果について
- 放課後子ども教室事業（子どもプラン・キッズプレイス）の検証について
- 各種スポーツ研修会、スポーツ教室の参加状況について

・10月17日 部局別審査（建設部、経済環境部、上下水道部 他）

- 田辺公園プールの空調機更新工事の内容について
- 放置自転車の撤去に関する事業成果と撤去後の対応について
- 市内バス路線への負担金の効果とバス交通活性化に向けた取り組みについて
- 通学路カラー塗装の現状と今後の計画について
- 全体の事業費のうち土木費の割合が低下している理由について
- 観光入り込み客数の増加の要因について
- 産業祭の来場者数の増加の要因について
- 消費生活センターの相談状況について
- 農業担い手の育成の事業成果について
- 農地法第3条申請後に荒廃農地となっている場合の対応状況について
- 有害鳥獣の被害状況と捕獲の推移について
- ごみ減量への具体的な取り組みについて
- 地域猫の適正飼養の啓発状況について
- 環境フェスタの出展状況と来場者の推移について
- ごみの減量傾向と粗大ごみ・持ち込みごみ有料化との関連性について
- 下水道の不明水への取り組みについて
- 下水道事業における未処分利益剰余金の取り扱いについて

・10月28日 総括質疑と委員会採決

総括質疑は会派ごとに所属議員数に応じた質疑時間（10分＋所属議員数×5分）で実施。

自民一新会

- 将来的に人口減少を迎えるなか、将来を見据えた都市経営の観点に立った施策の推進について
- 北陸新幹線新駅設置を見据えたまちづくりについて
- 地震・豪雨等の災害対応について
- 中学校給食について
- 子育て支援事業の推進について

NEXT京田辺

- 上下水道料金の適正化について
- 財政調整基金への積み増しについて
- 中学校給食の早期実現について
- 南田辺西地区の活用の見通しと、普賢寺クラスターの今後の方向性について

日本共産党京田辺市議会議員団

- 市の財政状況について
- 市民の暮らしの実態認識、市民の負担増について
- 公共下水道事業会計の公営企業会計への移行について
- 都市計画税について

公明党

- 複合施設や防災広場の整備を控えた今後の財政見直しや財源確保について
- 幼児教育無償化に伴い、今後の保育所待機児童対策や幼稚園定員割れ問題について
- 中学校給食の早期実現について

京都南風の会・日本維新の会クラブ

- SNSを活用した広報関係の施策について
- 市の業務システムの更新費用や使用料などのコストの増加について
- 子育て支援事業などの市民への周知・普及の取組について

▼12月議会 開会本会議にて委員会報告を行い、各議案ごとに採決を行った。

第4次京田辺市総合計画の基本構想を定めることについて

京田辺市議会 第4次総合計画特別委員会の報告

1. 総合計画とは

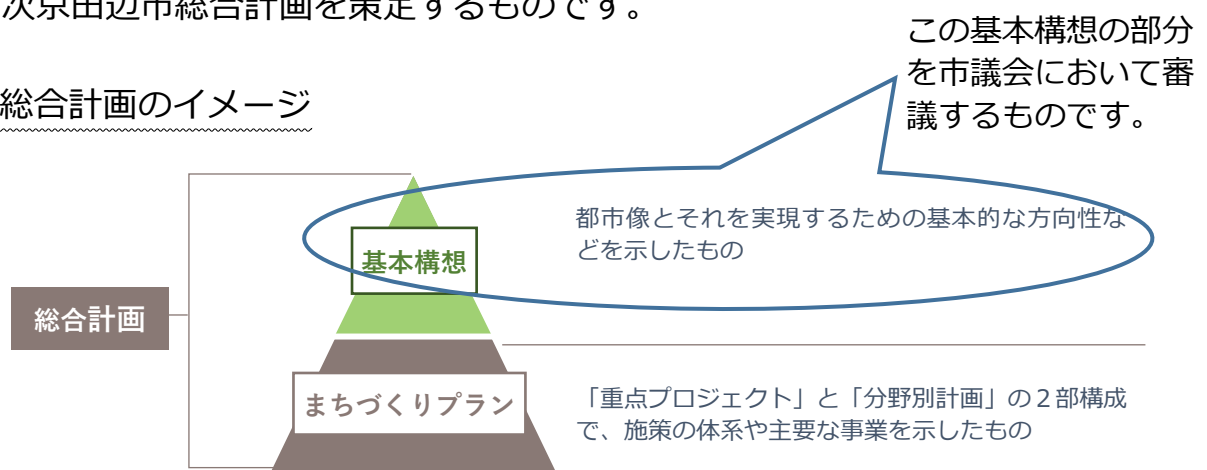
本市が目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向けて、総合的かつ計画的にまちづくりを推進する指針となるもの。市民、事業者、行政が、それぞれの役割を担いながら、参画、協働してまちづくりに取り組むための指針です。

全国的な人口減少と少子高齢化の進展、地球規模での環境変化と災害リスクの高まりなど、社会潮流は大きく変化しています。

本市は、今後も10年程度人口増加が見込まれますが、その後は緩やかに減少し少子高齢化が進むものと推計されています。

このような状況を踏まえ、本市においては、これまで進めてきたまちづくりを継承し、さらなる推進と深化のために、様々な社会経済情勢の変化や時代の潮流、直面する課題などに的確に対応した新たなまちづくりの指針として、第4次京田辺市総合計画を策定するものです。

2. 総合計画のイメージ



3. 総合計画の計画期間

| | R2 (2020) | R3 (2021) | R4 (2022) | R5 (2023) | R6 (2024) | R7 (2025) | R8 (2026) | R9 (2027) | R10 (2028) | R11 (2029) | R12 (2030) | R13 (2031) |
|----------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 基本構想 | ← 基本構想(12年) → | | | | | | | | | | | |
| まちづくりプラン | ← 前期(4年) → | | | | ← 中期(4年) → | | | | ← 後期(4年) → | | | |

4. 総合計画の概要

◆ 都市像

緑豊かで健康な文化田園都市

本市は、昭和 59 年に策定した「田辺町総合計画」で定めた都市像を継承し、以後 30 年以上にわたり、一貫してこの都市像を目指したまちづくりを進めてきました。

第 4 次総合計画においても、引き続き、この都市像を目指して、美しい品格のあるまちづくりを進めていくこととしています。

◆ 将来人口

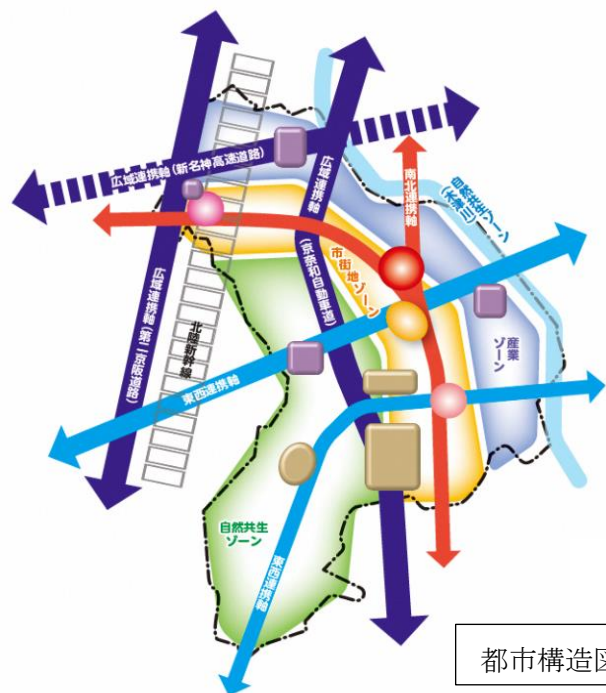
人口フレーム 80,000人

◆ 将来都市構造

本市の持つ貴重な自然や優良農地の保全を図りながら、北部、中部、南部の 3 つの拠点による利便性の高いコンパクトな都市構造を形成します。

そして高速道路網を生かして工業・流通拠点の充実を図るなど自然環境や人々の暮らし、都市機能が調和した土地利用を目指します。

さらに、新名神高速道路の全線供用、将来的な北陸新幹線新駅設置を踏まえて、人とももの大きな流れを呼び込み、広域的な結節点としての発展を図ります。



都市構造図

◆ まちづくりの基本方向

- ① 安心で心安らぐ優しいまち《安全・安心》
- ② 緑に包まれた美しいまち《緑》
- ③ いきいき健康で明るいまち《健康》
- ④ 子育てしやすく未来を育む文化薫るまち《文化・教育》
- ⑤ 活力にみちた便利で快適なまち《田園都市》

5. 総合計画策定における市議会の役割

京田辺市総合計画条例(平成 30 年 3 月 28 日施行)第 7 条の規定に基づき審議する。

京田辺市総合計画条例の抜粋

(議会の議決)

第 7 条 市長は、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経るものとする。

6. 市議会での審議経過

① 令和元年 9 月 2 日(令和元年 9 月定例会【第 3 回】)

市議会定例会本会議において「第 4 次総合計画特別委員会」が設置されました。そして、直ちに総合計画基本構想の議会議決を図るため、特別委員会に審議を付託されました。

② 令和元年 9 月 20 日

市側から総合計画基本構想の内容について説明を受けました。しかしその内容が、まちづくりの根幹に係ることから、より一層の審査を行うため継続審査としました。

③ 令和元年 10 月 25 日

各委員からは基本構想全般に渡る質疑がありました。

そして基本構想を具現化するための、「まちづくりプラン」の内容についても把握する必要があることから、市側に説明を求めることとなり継続審議としました。

④ 令和元年 11 月 18 日

市側から検討段階の「まちづくりプラン」について説明を受け質疑を行いました。

その後、採決を行い賛成多数で原案のとおり可決するべきものと決まりました。

⑤ 令和元年 12 月 3 日(令和元年 12 月定例会【第 4 回】)

市議会定例会本会議にて、基本構想に係る審議経過を第 4 次総合計画特別委員会委員長から報告を行い、賛成多数で原案のとおり可決いたしました。

7. 特別委員会での主な質疑内容

- ① 社会の潮流における ICT 進展についての認識は。
- ② 将来都市像に対して北陸新幹線はどのように影響するのか。
- ③ 北陸新幹線新駅は松井山手に限定か
- ④ 企業誘致施策について
- ⑤ 防災・減災体制強化について
- ⑥ 平成18年から進めてきた「第3次京田辺総合計画」でも将来人口は8万人としてきた。しかし達成されていない。検証結果は。
- ⑦ 都市農業の振興と都市計画の整合は
- ⑧ 京都府南部地域全体の発展要素について
- ⑨ 市民への説明責任を果たしながらスクラップ・アンド・ビルドの視点による持続可能な行財政運営について
- ⑩ 市民にもわかりやすい表現で施策の説明が重要
- ⑪ SDGs の視点を生かしたまちづくりについて
- ⑫ 市長の政策マニフェストと総合計画の連動性について
- ⑬ 市街地ゾーンにおけるコンパクト・プラス・ネットワークの考え方は
- ⑭ 北部、中部、南部の3箇所の拠点をもっとコンパクトにした人口集積を図るのか
- ⑮ 京都府の施策との連動について

8. まちづくりプランの策定

京田辺市総合計画条例第7条の規定に基づき、第4次京田辺市総合計画基本構想は議会議決されました。その後、市において「まちづくりプラン」の策定に向けてパブリックコメントが実施中です。期間は令和2年2月10日までとなっています。